

【令和 12 年度開校予定】

重春地区・野村地区・芳田地区統合小学校

統合準備委員会だより No.2

令和8年 7 月 17 日発行

重春地区・野村地区・芳田地区
小学校統合準備委員会

統合小学校の統合方法について、 「新設統合」が望ましい」との結論をまとめました

令和 12 年4月の重春小学校と芳田小学校の統合小学校（場所：重春小学校）の開校に向けて、各地域の代表者、各小学校の保護者代表、学校代表等で構成される統合準備委員会を開催しています。これまで4回にわたり統合方法（新設統合※または校区再編（吸収統合））について協議してきましたが、子どもたちにとって、統合校がより良い教育環境となることが重要であるとして、「新設統合が望ましい」との結論に至りました。この結論を教育委員会（7月定例会）へ報告し、統合方法が最終決定されます。



意見交換の様子

▶▶▶ 統合準備委員会の協議内容について

区 分	協議内容	協議概要（詳細は市 HP を参照）
第 1 回	・ 統合方法による違いについて ・ アンケートの実施について	協議を進めるに当たり、実施した校区内アンケートは、統合方法を多数決で決めるのではなく、住民の皆様の多様なご意見を参考にするため、委員会で実施したものです。結果は分かれてましたが、委員会では、いただいたご意見を参考に「子どもにとってどちらの統合方法が望ましいか」という視点で意見交換を重ねました。それらを踏まえて委員 14 名で投票を行い、新設統合※を支持する委員が 13 名と多数であったことから、新設統合を支持する理由と少数意見などを附帯意見として整理しました。
第 2 回	・ アンケート結果について ・ 意見交換（統合方法）	
第 3 回	・ 意見交換（統合に当たり重視する視点の整理）	
第4回	・ 意見交換（附帯意見の整理） ・ 望ましい統合方法の投票	

※新設統合とは、重春小学校と芳田小学校の両校を閉校し、新しい統合小学校を開校する統合方法です。なお、統合小学校の場所は重春小学校です。また、現重春小学校の校舎は統合校として、長期間は使用できないことが令和7年度の調査により確認されているため、いずれの統合方法でも、建て替えを行います。

▶▶▶ 新設統合が望ましいとする理由等について（要旨）

- 統合校として、児童、保護者、教職員、地域が共に「未来」に向けて「新しい」学校を創っていくことができる新設統合であれば、統合前から1つの校区として「一体感」を醸成していくことができる。
- 新設統合であれば、どちらか一方の学校に校区再編（吸収統合）される形ではないので、両校区の子どもたちが対等な立場で、新しい学校生活を始めることができる。また、両校区の地域にとっても、「対等感」や「公平感」のある学校統合であると受け止められ、1つの校区として、地域全体で子どもたちを育てていくことができる。

〈主な附帯意見〉

- 重春小学校と芳田小学校のこれまでの歴史を大切にしながら、行事や取組なども引き継ぐこと。
- 統合に伴い、地域や保護者等に過度な負担、費用が生じないように配慮すること。

各回の会議結果やアンケートなどの資料はホームページでご覧になれます。

【お問い合わせ先】教育委員会 教育管理部 教育総務課

電話：22-3111 内線 4021 E-mail：gakushuu-kankyou@city.nishiwaki.lg.jp



市HP